

# 「日中防災減災フォーラム」について

## 1 背景

2018年は中国四川大地震から10年であることを踏まえ、当時の状況や、それから得た教訓を日中間で振り返りながら今後の防災を考えるイベントが5月28日、中国四川省で開催。

二階幹事長らを始めとする自民党議員が出席され、国交省からも森技監等幹部や当時の緊急援助隊メンバーらも出席した。また、「(3)パネルディスカッション及び講演」では、「輸送ルートの防災 地震による土砂災害と緊急対策」と題して、石川芳治名誉教授(※)が日本側の講演の一つを行った。

(※石川名誉教授は四川大地震直後、砂防学会として調査研究を実施され、その後、共同研究にも参画。砂防学会論文賞(1994年)など、砂防分野において多くの実績がある。)

## 2 概要

- (1)日程:5月28日(月)14:00~17:35 於:錦江賓館
- (2)冒頭挨拶(自民党二階幹事長・四川省要人・経団連幹部等)
- (3)特別講演(緊急援助隊メンバー)
- (4)パネルディスカッション及び講演
- (5)規模:来場者200名
- (6)日本側参加者
  - ・二階幹事長一行, 経団連, 外務省・在重慶総領事館,
  - テーマに応じた関係省庁(例:内閣府, 国土交通省), JICA等
- (7)中国側参加者
  - ・中国人民対外友好協会, 中日友好協会, 四川省人民政府



開会挨拶:  
四川省人民政府省長伊力氏



挨拶:  
二階俊博 幹事長



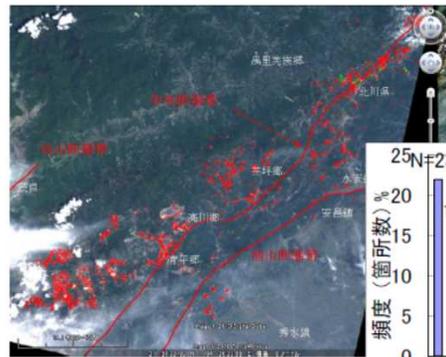
講演:  
東京農工大学 石川芳治名誉教授

## 3 式次第

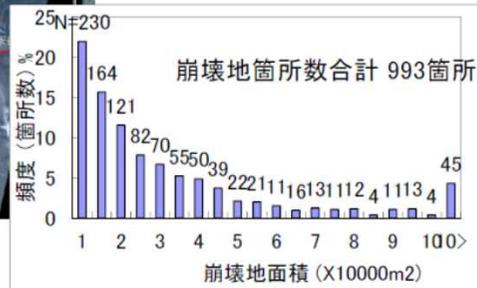
時間	内容
(1)冒頭挨拶	
14:00~14:05	四川省要人
14:05~14:10	二階幹事長
14:10~14:15	黄建尧・四川省委員会組織部長兼党校長
14:15~14:20	山内経団連副会長
(2)特別講演	
14:20~14:25	緊急援助隊メンバー
(3)パネルディスカッション及び講演	
14:30~16:00	パネルディスカッション「防災と地域コミュニティ」
16:05~16:45	<u>講演①「輸送ルートの防災」(石川名誉教授)</u>
16:50~17:30	講演②「建築物等の耐震」
(4)閉会挨拶	
17:30~17:35	陳新有・四川省経済情報委員会主任

# 「日中防災減災フォーラム」について 「輸送ルートの防災 地震による土砂災害と緊急対策」 (石川芳治名誉教授の講演概要)

## 四川大地震による崩壊地抽出結果 (砂防学会、2011)



龍門山断層群とともに抽出結果をGoogle earth上に表示



・10,000m<sup>2</sup>以下:約23%、20,000 m<sup>2</sup>以下:約52%、30,000 m<sup>2</sup>以下:約67%  
(面積とともに指数関数的に減少)  
・崩壊面積の合計42.4 km<sup>2</sup> (対象面積629.8km<sup>2</sup>)、崩壊面積率6.7%

## ○天然ダムによる河道閉塞への対処

- ・多発した河道閉塞の検知と緊急性の判断  
→ 衛星画像や航空写真の活用
- ・重機の搬入等対策工事への迅速な対応  
→ 平時からの救援態勢の整備(ヘリコプター等)
- ・下流部での大規模な避難  
→ 流量予測・氾濫予測・橋梁の補強・避難計画等、多方面にわたるマニュアルの整備
- ・水路部の急激な侵食・拡大による洪水への対応  
→ 継続的な監視と連絡・通報手段の整備

## 四川大地震による唐家山天然ダム 掘削による湖水位低下:約27m(741→714m)→洪水流量の減少



唐家山および北川県曲山镇周辺の衛星写真  
[http://farm4.static.flickr.com/3183/254449906\\_b4ee0480c4\\_o.jpg](http://farm4.static.flickr.com/3183/254449906_b4ee0480c4_o.jpg)

堤高:82~124m(河床高670m)  
長さ:803m、幅:611m

重機による緊急排水路の掘削  
[http://www.chinadaily.com.cn/china/2008-05/27/content\\_6713472\\_5.htm](http://www.chinadaily.com.cn/china/2008-05/27/content_6713472_5.htm)

## 四川大地震後の2010年8月12~14日の豪雨災害

地区名	清平(qing ping)、四川地震被災地	龙池(long chi)、四川地震被災地	映秀(ying xiu)、四川地震被災地	乐山(le shan)、四川地震被災地、岷江下流	
災害原因	泥石流、山崩れ	泥石流、山崩れ	泥石流	洪水	
発生時間	13日午前1時頃	13日午後1時~14日朝	13日夜中~14日午前3時	13日晚~14日朝	
発生原因	豪雨、雨量時間降雨量、日雨量 豪雨 2時間雨量220mm 日雨量不明	大雨、強降雨(時間雨量及び日雨量不明)	大雨、強降雨(時間雨量及び日雨量不明)	豪雨189.6mm(時間雨量か、日雨量が不明)	
被害	死者	9人	1人	0人	不明
	行方不明者	5人	12人	32人	不明
	負傷者	不明	9人	15人	不明
	家屋	全壊 100棟以上(農家、病院) 半壊 約379棟	137棟	映秀市の1/3の家屋	258棟
経済的損失	4.3億元	不明	不明	3641万元	
救助・避難	避難者数	約6000人(140人を救出)	約5800人	700人以上	約5.4万人
	救助隊員数、いつ頃	医療救援隊(数及び時間不明) 120名 警官(14日)	成都交通委員及び軍隊、都江堰市交通局(数及び時間不明)、	2864人 交通警察(警察)	不明

大地震直後に砂防学会が実施した崩壊地調査の内容について紹介